

2017-2018 シーズン

フィギュアスケート国際競技会派遣選手選考基準

国際競技会派遣選手は、以下の選考基準に従い、強化部において候補を決定し、フィギュア委員会及び理事会、選考委員会の承認を経て確定するものとする。

1. 第 23 回オリンピック冬季競技大会

(男子シングル 3 枠、女子シングル 2 枠。ペア・アイスダンスの枠はオリンピック最終予選にて決定)
全日本選手権大会終了時に、オリンピック参加有資格者の中から、以下の選考方法で決定する

(1) 男子シングル

- ①全日本選手権大会優勝者を選考する。
- ②以下のいずれかを満たす者から総合的に判断して 1 名選考する。
 - A) 全日本選手権大会 2 位、3 位の選手
 - B) ISU グランプリファイナル出場者上位 2 名
- ③以下のいずれかを満たす者から総合的に判断して、①、②で選考された選手を含め 3 名に達するまで選考する。
 - A) ②の A) 又は B) に該当し、②の選考から漏れた選手
 - B) 全日本選手権大会終了時点での ISU ワールドスタンディング上位 3 名
 - C) 全日本選手権大会終了時点での ISU シーズンワールドランキング上位 3 名
 - D) 全日本選手権大会終了時点での ISU シーズンベストスコア上位 3 名

(2) 女子シングル

- ①全日本選手権大会優勝者を選考する。
- ②以下のいずれかを満たす者から総合的に判断して、①で選考された選手を含め 2 名に達するまで選考する。
 - A) 全日本選手権大会 2 位、3 位の選手
 - B) ISU グランプリファイナル出場者上位 2 名
 - C) 全日本選手権大会終了時点での ISU ワールドスタンディング上位 3 名
 - D) 全日本選手権大会終了時点での ISU シーズンワールドランキング上位 3 名
 - E) 全日本選手権大会終了時点での ISU シーズンベストスコア上位 3 名

(3) ペア・アイスダンス

オリンピック最終予選で出場枠を獲得した場合、以下のいずれかを満たす者から総合的に判断して選考する。

- A) 全日本選手権大会最上位組
- B) 全日本選手権大会終了時点での ISU ワールドスタンディング最上位組
- C) 全日本選手権大会終了時点での ISU シーズンワールドランキング最上位組
- D) 全日本選手権大会終了時点での ISU シーズンベストスコアの最上位組

※ オリンピック参加有資格者とは

- ・ 日本国籍を有し、オリンピックに参加できる年齢を満たしているもの。
- ・ JOCへ候補選手手続きを済ませており、指定期日までに派遣前チェックを受けることが必須である。
- ・ 全日本選手権大会時まで ISU が定める当該年度のオリンピック出場のためのミニマムポイントを獲得している。

※ 最終選考会である全日本選手権大会への参加は必須である。

ただし、過去に世界選手権大会 3 位以内に入賞した実績のある選手が、けが等のやむを得ない理由で全日本選手権大会へ参加できなかった場合、不参加の理由となったけが等の事情の発生前における同選手の成績を上記選考基準に照らして評価し、大会時の状態を見通しつつ、選考することがある。

2. 世界フィギュアスケート選手権大会

(男子シングル 3 枠、女子シングル 2 枠、ペア、アイスダンス各 1 枠)

(1) 男子シングル

- ① 全日本選手権大会優勝者を選考する。
- ② 以下のいずれかを満たす者から総合的に判断して 1 名選考する。
 - A) 全日本選手権大会 2 位、3 位
 - B) ISU グランプリファイナル出場者上位 2 名
- ③ 以下のいずれかを満たす者から総合的に判断して、①、②で選考された選手を含め 3 名に達するまで選考する。
 - A) ②の A) 又は B) に該当し、②の選考から漏れた選手
 - B) 全日本選手権大会終了時点での ISU ワールドスタンディング上位 3 名
 - C) 全日本選手権大会終了時点での ISU シーズンワールドランキング上位 3 名
 - D) 全日本選手権大会終了時点での ISU シーズンベストスコア上位 3 名

(2) 女子シングル

- ①全日本選手権大会優勝者を選考する。
- ②以下のいずれかを満たす者から総合的に判断して、①で選考された選手を含め2名に達するまで選考する。
 - A) 全日本選手権大会2位、3位の選手
 - B) ISUグランプリファイナル出場者上位2名
 - C) 全日本選手権大会終了時点でのISUワールドスタンディング上位3名
 - D) 全日本選手権大会終了時点でのISUシーズンワールドランキング上位3名
 - E) 全日本選手権大会終了時点でのISUシーズンベストスコア上位3名

※ 男女シングル

最終選考会である全日本選手権大会への参加は必須である（補欠の選考はこれに限らない）。

ただし、過去に世界選手権大会3位以内に入賞した実績のある選手が、けが等のやむを得ない理由で全日本選手権大会へ参加できなかった場合、不参加の理由となったけが等の事情の発生前における同選手の成績を上記選考基準に照らして評価し、世界選手権大会時の状態を見通しつつ、選考することがある。

(3) ペア・アイスダンス

以下のいずれかを満たす者から総合的に判断して選考する。

- A) 全日本選手権大会優勝組
- B) 全日本選手権大会終了時点でのISUワールドスタンディング上位3組
- C) 全日本選手権大会終了時点でのISUシーズンワールドランキング上位3組
- D) 全日本選手権大会終了時点でのISUシーズンベストスコア上位3組

※ 最終選考会である全日本選手権大会への参加は必須である。

※ 代表候補に選出されたが当該競技会出場のためのミニマムポイントを持っていないカップルは、ミニマムポイント獲得のために国際大会に派遣する。

3. 四大陸フィギュアスケート選手権大会

(1) 男女シングル

全日本選手権大会終了時に、以下のいずれかを満たす者から総合的に判断して選考する。

- A) 全日本選手権大会10位以内
- B) 全日本選手権大会終了時点でのISUワールドスタンディング上位6名
- C) 全日本選手権大会終了時点でのISUシーズンワールドランキング上位6名

D)全日本選手権大会終了時点での ISU シーズンベストスコア上位 6 名

※ 男女シングル

最終選考会である全日本選手権大会への参加は必須である（補欠の選考はこれに限らない）。

ただし、過去に世界選手権大会 3 位以内に入賞した実績のある選手が、けが等のやむを得ない理由で全日本選手権大会へ参加できなかった場合、不参加の理由となったけが等の事情の発生前における同選手の成績を上記選考基準に照らして評価し、四大陸選手権大会時の状態を見通しつつ、選考することがある。

※ 最終選考会時点でミニマムポイントを持っていない選手は、ISU の定めるミニマムポイント獲得期限日までに、ミニマムポイントを獲得できる事を条件として選考することがある。

(2) ペア、アイスダンス

国際的な競技力を考慮し総合的に判断して選考する。

※ 最終選考会である全日本選手権大会への参加は必須である。

※ 最終選考会時点でミニマムポイントを持っていない選手は、ISU の定めるミニマムポイント獲得期限日までにミニマムポイントを獲得できる事を条件として選考することがある。

4. 世界ジュニアフィギュアスケート選手権大会

(男子シングル 2 枠、女子シングル 3 枠、ペア・アイスダンス各 1 枠)

※ 選考選手の最終決定は、全日本選手権大会時に開催される選考委員会にて決定される。

(1) 男子シングル

①全日本ジュニア選手権大会優勝者を選考する。

②ジュニア対象年齢で派遣希望のある選手の中で、以下のいずれかを満たす者から総合的に判断して、①で選考された選手を含め 2 名に達するまで選考する。

- A) 全日本ジュニア選手権大会 2 位、3 位の選手
- B) ISU ジュニアグランプリファイナル出場者
- C) 全日本選手権大会参加者のうち上位 3 名
- D) 全日本選手権大会終了時点での ISU シーズンワールドランキング上位 3 名
- E) 全日本選手権大会終了時点での ISU シーズンベストスコア上位 3 名

(2) 女子シングル

- ①全日本ジュニア選手権大会優勝者を選考する。
- ②ジュニア対象年齢で派遣希望のある選手の中で、以下のいずれかを満たす者から総合的に判断して、①で選考された選手を含め3名に達するまで選考する。
 - A) 全日本ジュニア選手権大会2位、3位の選手
 - B) ISUジュニアグランプリファイナル出場者
 - C) 全日本選手権大会参加者のうち上位3名
 - D) 全日本選手権大会終了時点でのISUシーズンワールドランキング上位3名
 - E) 全日本選手権大会終了時点でのISUシーズンベストスコア上位3名

※ 男女シングル

最終選考会である全日本選手権大会への参加は必須である（補欠の選考はこれに限らない）。

- ※ ただし、過去に世界ジュニア選手権大会3位以内に入賞した実績のある選手が、けが等のやむを得ない理由で全日本選手権大会へ参加できなかった場合、不参加の理由となったけが等の事情の発生前における同選手の成績を上記選考基準に照らして評価し、世界ジュニア選手権大会時の状態を見通しつつ、選考することがある。
- ※ 代表候補に選出された選手が当該競技会出場のためのミニマムポイントを持っていなかった場合、ミニマムポイント獲得のために国際大会に派遣する。
- ※ 候補選手となるには、当該年度のいずれかの競技会のショートプログラムにて、当該年度ジュニアショートプログラムのジャンプ課題を実施し、十分な得点を獲得できる実力を示していることが必要である。

(3) ペア

以下のいずれかを満たす者から総合的に判断して選考する。

- A) 全日本ジュニア選手権大会優勝組
- B) 今シーズンのシーズンベストスコア最上位組(国内外公式競技会)

- ※ 最終選考会である全日本ジュニア選手権大会への参加は必須である。
- ※ 代表候補に選出されたが当該競技会出場のためのミニマムポイントを持っていないカップルは、ミニマムポイント獲得のために国際大会に派遣する。

(4) アイスダンス

国際的な競技力を考慮し総合的に判断して選考する。

- ※ 最終選考会である全日本ジュニア選手権大会への参加は必須である。

- ※ 代表候補に選出されたが当該競技会出場のためのミニマムポイントを持っていないカップルは、ミニマムポイント獲得のために国際大会に派遣する。

5. ISU ジュニアグランプリシリーズ

(1) 男女シングル

6月に開催する派遣選手選考会における、選考会課題・演技・国際競技力を総合考慮して選考する。

(2) ペア、アイスダンス

6月に開催する派遣選手選考会にて、国際的な競技力を総合考慮して選考する。

6. 世界シンクロナイズドスケーティング選手権大会

国際的な競技力を考慮し総合的に判断して選考する。

7. その他の国際競技会派遣

- ・ノービス国際競技会については、全日本ノービス選手権大会の上位選手を選考対象とする。有望新人発掘合宿で選考する場合もある。
- ・国際競技会については、事前に調査した上で、強化方針に従って選考する。なお別途選考会を開催する場合もある。

- ※①各選考基準において、『上位』と記載のある選考項目については、対象資格・対象年齢に満たない選手及び優先する選考項目で選考済みの選手は除外し、繰り上げて対象とする。
- ※②『順位』で指定されている選考項目に関しては、繰り上げは行わない。
- ※③補欠の選考に関しては、正選手選考項目に定める成績またはこれに準じる成績の者の中から、最終選考会時点の競技力や将来性を考慮し、総合的に判断して選考する。
- ※④当該国際競技会に派遣するにあたって、十分な国際競技力が無いと判断された場合には、派遣枠があった場合においても派遣しない場合がある。